



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月14日

上場会社名 株式会社 ユビキタスAI 上場取引所 東
コード番号 3858 URL <https://www.ubiquitous-ai.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 大吉 裕太
問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部 部長 (氏名) 倉上 愛子 TEL 03-5908-3451
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	756	△12.0	△145	—	△146	—	△147	—
2026年3月期第1四半期	859	2.6	△113	—	△112	—	△123	—

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 150百万円（－％） 2026年3月期第1四半期 △140百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	△14.12	—
2026年3月期第1四半期	△11.81	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	3,818	2,061	54.0
2026年3月期	3,698	1,910	51.7

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 2,061百万円 2026年3月期 1,910百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		0.00	—	0.00	0.00

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は、さらなる収益基盤の強化及び今後の事業展開に備えるための内部留保の充実を図っていく必要があることから、誠に遺憾ながら、無配を継続させていただきます。

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	3,950	0.7	△200	—	△250	—	△400	△38.25

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	10,459,000株	2026年3月期	10,459,000株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	117株	2026年3月期	117株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	10,458,883株	2026年3月期1Q	10,458,883株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見直し等将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、本日、当社ウェブサイトに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における売上高は756,537千円となりました。

なお、2026年5月20日公表の通期業績予想に対し19.2%の進捗となりました。

当社グループの報告セグメントは、製品・サービス別のセグメントから構成されており、「ソフトウェアプロダクト事業」、「ソフトウェアディストリビューション事業」、「ソフトウェアサービス事業」及び「データアナリティクス事業」の4つを報告セグメントとしておりましたが、前第2四半期連結会計期間より、「ソフトウェアプロダクト事業」、「ソフトウェアディストリビューション事業」及び「ソフトウェアサービス事業」を「ソフトウェア事業」として統合し、「データアナリティクス事業」を「アナリシスソフトウェア事業」に名称を変更したうえで、2つのセグメントに変更しております。

これは、2025年6月に公表した「中期経営計画」(2026年―2028年)を踏まえて、事業セグメントについて改めて検討した結果、当社グループの事業戦略は、顧客のソフトウェアニーズに対して全方位的な支援を行うビジネスモデルに変革しており、当該事業戦略の実行のための組織体制の統合及び経営管理体制の見直しの実態を踏まえ、「ソフトウェア事業」及び「アナリシスソフトウェア事業」の2つの報告セグメントが適切であると判断したことによるものであります。

なお、各事業における収益の分解については、企業の実態に即し、財務諸表の利用者にとって有用な情報を提供することを目的として、財又はサービスの種類に基づき、従来どおりの区分に従って、「ソフトウェア事業」における製品・サービスとして、「ソフトウェアプロダクト領域」、「ソフトウェアディストリビューション領域」、「ソフトウェアサービス領域」とし、「アナリシスソフトウェア事業」における製品・サービスとして、「データアナリティクス領域」の4区分に分類しております。

「ソフトウェアプロダクト領域」は、組込みネットワーク、セキュリティ&リアルタイムOS関連製品、高速起動製品、データベース製品等の主に自社開発によるデバイス組込み用ソフトウェア等に関する製品・サービス領域であります。

「ソフトウェアディストリビューション領域」は、海外ソフトウェアの輸入販売及びテクニカルサポート等に関する製品・サービス領域であります。

「ソフトウェアサービス領域」は、組込みソフトウェア等の受託を中心とした各種ソフトウェアの設計、開発及びデータコンテンツのライセンス等に関する製品・サービス領域であります。

「データアナリティクス領域」は、統計・数値データ解析ソフトウェア等における海外ソフトウェアの輸入販売及びテクニカルサポート等に関する製品・サービス領域であります。

製品・サービス別の売上高は、以下のとおりであります。

製品・サービス別	当第1四半期連結累計期間		前第1四半期連結累計期間		増減率 (%)
	売上高 (千円)	売上割合 (%)	売上高 (千円)	売上割合 (%)	
ソフトウェアプロダクト領域	193,967	25.6	212,051	24.7	△8.5
ソフトウェアディストリビューション領域	215,760	28.5	270,570	31.5	△20.3
ソフトウェアサービス領域	150,123	19.9	174,800	20.3	△14.1
データアナリティクス領域	196,687	26.0	202,162	23.5	△2.7
合計	756,537	100.0	859,582	100.0	△12.0

・ソフトウェアプロダクト領域

当領域は、高速起動製品における海外顧客のスマートデバイスおよび国内外の車載関連機器からのロイヤルティ売上、セキュリティ製品における車載関連機器およびデータベース製品における産業機器からのロイヤルティ売上を中心に、売上高193,967千円(前年同四半期比8.5%減)となりました。この減少要因は、主力の高速起動製品における海外主要顧客へのロイヤルティ売上が前年同四半期を上回った一方で、前年同四半期に発生した音声コードUni-Voice(ユニボイス)製品における行政関連需要の一部が当四半期は発生しなかったことに伴い、ロイヤルティ売上が減少したことによるものです。

・ソフトウェアディストリビューション領域

当領域は、BIOS、Bluetooth、ソフトウェア解析・開発効率化ツール及びネットワークマネジメント等の海外製品における既存顧客からのロイヤルティ及び受託開発売上、セキュリティ検証ツール・サービスの既存及び新規顧客へのライセンス販売並びに受託開発売上を中心に、売上高215,760千円(前年同四半期比20.3%減)となりました。この減少要因は、既存顧客向け製品販売およびロイヤルティ売上が計画通り進捗した一方で、前年同四半期に計上したBluetooth製品におけるロイヤルティ売上の計上が当期は下期に予定されていることによるものです。

・ソフトウェアサービス領域

当領域は、既存顧客からの各種受託開発売上、データコンテンツ「YOMI」に関する車載機器向けを中心としたライセンス売上により、売上高150,123千円(前年同四半期比14.1%減)となりました。この減少要因は、既存顧客の開発計画変更等の影響により受託開発売上が減少したことに加え、前年同四半期は一昨年度から後ろ倒しとなった案件が売上を押し上げていたことによるものです。

・データアナリティクス領域

当領域は、研究機関、大学および一般企業への化学系データベース及び画像解析ソフトの販売により、売上高196,687千円(前年同四半期比2.7%減)となりました。この減少要因は、主力製品を中心とした売上は通期計画に対して堅調に推移したものの、官公庁向け大型案件の売上が第2四半期に後ろ倒しとなったことによるものです。

これらの結果、ソフトウェア事業は、売上高559,851千円(前年同四半期比14.8%減)、セグメント損失134,464千円(前年同四半期は120,461千円の損失)、アナリティクスソフトウェア事業は、売上高196,687千円(前年同四半期比2.7%減)、セグメント損失11,410千円(前年同四半期は6,706千円の利益)となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は売上高756,537千円(前年同四半期比12.0%減)、営業損失145,875千円(前年同四半期は113,755千円の損失)、経常損失146,275千円(前年同四半期は112,417千円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失147,716千円(前年同四半期は123,505千円の損失)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産は、3,818,181千円となり、前連結会計年度末に比べ119,242千円増加しました。これは主に、受取手形及び売掛金が465,797千円減少した一方で、投資有価証券が435,240千円、現金及び預金が113,063千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、1,757,135千円となり、前連結会計年度末に比べ31,095千円減少しました。これは主に、繰延税金負債が133,463千円増加した一方で、買掛金が105,626千円、長期借入金が49,989千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、2,061,045千円となり、前連結会計年度末に比べ150,337千円増加しました。これは、利益剰余金が147,716千円減少した一方で、その他有価証券評価差額金が298,053千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月20日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,995,296	2,108,359
受取手形及び売掛金	951,056	485,259
商品及び製品	5,299	1,214
仕掛品	17,657	50,594
前払費用	100,416	92,312
未収還付法人税等	10,582	11,880
その他	6,589	37,329
流動資産合計	3,086,895	2,786,947
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備(純額)	7,033	5,391
工具、器具及び備品(純額)	1,618	1,514
有形固定資産合計	8,651	6,905
無形固定資産		
ソフトウェア	33,766	30,601
のれん	116,522	106,812
無形固定資産合計	150,288	137,412
投資その他の資産		
投資有価証券	312,468	747,708
差入保証金	134,639	134,639
繰延税金資産	3,618	2,188
その他	2,380	2,380
投資その他の資産合計	453,105	886,916
固定資産合計	612,044	1,031,233
資産合計	3,698,939	3,818,181

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	227,642	122,016
1年内返済予定の長期借入金	199,956	199,956
未払金	61,015	47,901
未払費用	31,627	29,804
未払法人税等	17,390	6,753
未払消費税等	18,519	31,165
契約負債	141,214	151,473
賞与引当金	28,000	12,000
資産除去債務	7,844	7,852
その他	14,766	21,503
流動負債合計	747,972	630,423
固定負債		
長期借入金	716,729	666,740
退職給付に係る負債	224,195	227,601
資産除去債務	35,818	35,859
繰延税金負債	62,169	195,632
その他	1,348	880
固定負債合計	1,040,258	1,126,712
負債合計	1,788,230	1,757,135
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,483,482	1,483,482
資本剰余金	1,453,482	1,453,482
利益剰余金	△1,169,124	△1,316,840
自己株式	△121	△121
株主資本合計	1,767,720	1,620,005
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	142,988	441,041
その他の包括利益累計額合計	142,988	441,041
純資産合計	1,910,709	2,061,045
負債純資産合計	3,698,939	3,818,181

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	859,582	756,537
売上原価	550,510	504,201
売上総利益	309,072	252,337
販売費及び一般管理費	422,826	398,211
営業損失(△)	△113,755	△145,875
営業外収益		
受取利息	27	111
受取配当金	1,657	1,938
補助金収入	—	1,258
為替差益	—	605
営業外収益合計	1,684	3,912
営業外費用		
支払利息	223	4,284
為替差損	124	—
その他	—	28
営業外費用合計	347	4,313
経常損失(△)	△112,417	△146,275
特別損失		
減損損失	—	2,970
特別損失合計	—	2,970
税金等調整前四半期純損失(△)	△112,417	△149,245
法人税、住民税及び事業税	2,627	766
法人税等調整額	8,461	△2,295
法人税等	11,088	△1,529
四半期純損失(△)	△123,505	△147,716
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△123,505	△147,716

(四半期連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純損失(△)	△123,505	△147,716
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,772	298,053
その他の包括利益合計	△16,772	298,053
四半期包括利益	△140,276	150,337
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△140,276	150,337

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ソフトウェア 事業	アナリシス ソフトウェア 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	657,420	202,162	859,582	—	859,582
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	657,420	202,162	859,582	—	859,582
営業利益又は営業損失(△)	△120,461	6,706	△113,755	—	△113,755

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ソフトウェア 事業	アナリシス ソフトウェア 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	559,851	196,687	756,537	—	756,537
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	559,851	196,687	756,537	—	756,537
営業損失(△)	△134,464	△11,410	△145,875	—	△145,875

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

前第2四半期連結会計期間より、「ソフトウェアプロダクト事業」、「ソフトウェアディストリビューション事業」及び「ソフトウェアサービス事業」を「ソフトウェア事業」として統合し、「データアナリティクス事業」を「アナリシスソフトウェア事業」に名称を変更したうえで、2つのセグメントに変更しております。これは、2025年6月に公表した「中期経営計画」(2026年—2028年)を踏まえて、事業セグメントについて改めて検討した結果、当社グループの事業戦略は、顧客のソフトウェアニーズに対して全方位的な支援を行うビジネスモデルに変革しており、当該事業戦略の実行のための組織体制の統合及び経営管理体制の見直しの実態を踏まえ、「ソフトウェア事業」及び「アナリシスソフトウェア事業」の2つの報告セグメントが適切であると判断したことによるものであります。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	6,510千円	4,911千円
のれん償却額	23,503千円	9,710千円